

第1回 福岡空港滑走路増設関係者連絡調整会 議事概要

1. 開催日時

平成24年8月3日（金） 15:00～15:40

2. 開催場所

大阪航空局福岡空港事務所 2階A会議室

3. 出席者

国土交通省九州地方整備局副局長	山本 浩
国土交通省大阪航空局長	花角 英世
福岡県副知事	服部 誠太郎
福岡市副市長	山崎 一樹
国土交通省航空局空港施設課長	池田 薫（オブザーバー）

4. 主な議題

- （1）福岡空港滑走路増設関係者連絡調整会の設置について
- （2）これまでの検討経緯について
- （3）環境アセスメントについて
- （4）その他

5. 議事概要

- ・福岡空港滑走路増設関係者連絡調整会設置要領（案）について、了解がなされた。
- ・平成15年度からの「総合的な調査」の結果や、PI（パブリック・インボルメント）の実施結果、地域（県・市）の意見を踏まえ、現空港における滑走路増設案が選択され、その後、平成21年度から構想・施設計画段階へ移行し、今年度から環境影響評価手続きに入っていくこれまでの経緯を確認した。
- ・今年度より手続きがスタートする環境アセスメントについては、本年10月頃を目途に方法書の公告、縦覧及び説明会を開催する予定について確認を行った。
- ・本連絡調整会における主な意見は、以下のとおり。

福岡県）

アジアの玄関口として継続的な発展を図る上で、福岡空港の過密化対策は重要な課題であり、滑走路増設を一刻も早く実現していただきたい。

そのためにも環境アセスメントの手続きを円滑に進めていただくとともに、住民の皆様の理解を得られるよう、適切かつ丁寧を実施していただきたい。

滑走路増設、国内線ターミナル再編が円滑に進むよう、協力してまいりたい。

福岡市）

福岡空港は西日本の主要地域拠点空港として、また、防災上の観点、国土全体のあり方からしても国内で重要な空港の一つ。一方、空港能力は限界近くに達しており、福岡空港の将来のあり方は、重要かつ喫緊の課題。

環境アセスメントについては、地域住民の方々の関心が高いところであり、丁寧な情報提供とご説明をいただきながら調査実施をお願いしたい。

事業が円滑に進むよう最大限の協力をしてまいりたい。

大阪航空局)

環境アセスメントを丁寧に進めていただきたいというお話があり、十分心して努力していきたい。地元自治体のご理解、ご協力を賜りたい。

国内線ターミナルの再編は、利用者・地域住民の方々にご迷惑がかかる可能性もあるが、できるだけ回避しながらやっていきたい。

九州地方整備局)

今まで大変多くの地域の皆様のご意見を賜りながら現在に至っているものと認識。引き続き関係の皆様のご理解とご協力を賜りながら丁寧に取り組んでまいりたい。

福岡空港の能力向上は喫緊の課題であるということを肝に銘じながら鋭意取り組んでまいりたい。